

祇園祭の山鉾町として名高い新町通、その一角に。



エリア概念イメージイラスト

夏の風物詩である祇園祭を身近に感じられる幸せ。

新町通は、日本三大祭の一つ、祇園祭の山鉾町としても有名です。毎年7月になると、八幡山、北観音山、南観音山、放下鉾、大船鉾、船鉾、岩戸山と、前祭・後祭合わせて7つの山鉾が建ち並び、古来から続く繁栄ぶりを肌で感じ取れるエリア。その通の一角に誕生する「ファインレジデンス烏丸五条」は、夏の風物詩である祇園囃子が京に響く祇園祭を、気軽な散歩感覚で愉しむことができます。



南観音山



八幡山



岩戸山

提供：JAPAN IMAGES



船鉾



大船鉾



放下鉾



北観音山

新町通

平安の頃より、京の中心として栄える新町通。

京都の中心、南北に全長約9kmに渡って貫く新町通は、平安の昔よりまさに京の中心街路として栄えてきました。平安の頃は「町尻小路」と呼ばれ、これは宮中の修理を担う工人が居住する修理職町の北端を「町口」、南端を「町尻」と呼ばれたことに端を発しています。現在の新町通と呼ばれるのは秀吉の「天正の地割」から。商業の中心として発展し、安土桃山時代には豪商・茶屋四郎次郎が邸宅を構え、三井財閥の創始者で両替商の三井高利の事業拠点が置かれるなど、由緒ある歴史が育まれました。



現地周辺の街並み

三井両替店旧址

